

Ⅱ-6 避難所開設・運営協力

学校は、災害時において生徒の生命・身体の安全確保を最優先し、教育活動の確保を図るとともに、学校が緊急避難所となった場合の運営の方法について事前の備えを十分に行い、万全を期さねばならない。以下、緊急避難所となった場合の対応を示す。避難所開設となった場合は、基本的には市の担当職員が運営を行うが、市の担当職員が到着するまでは、学校教職員で対応を行う。現在は、市役所担当職員に鍵を委嘱している。講堂入口(外側)にキーボックスが設置。職員の到着が遅れる場合は外部非常階段から屋上に上がるか、1階ガラスを壊して入ることとなる。

1 避難所開設

<第1到着者>

- 1) 職員室へ入り、防災マニュアルの手順の確認を行う。
- 2) 『講堂』を解錠し、救急箱を設置する。
- 3) 防災倉庫を解錠する。
- 4) ライフライン(ガス・水道・電気・電話)の状況を確認する。
- 5) 自分から後の到着者を確認・記録する。
- 6) 生徒安否確認表(学級名簿・出席簿等)を準備する。
- 7) 第6到着者より順に以下の作業指示を出す。

※指示内容

第1作業 校庭等『駐車場』として、避難者の車を整理する。

第2作業 『住所別家族動静表(模造紙)』を講堂に張り出し、避難住民に記入してもらう。

サインペンを置き、他の避難場所に移動する場合は抹消してもらう。

第3作業 『住民票(白紙)』を1家族に1枚配布・回収し50音順に綴る。

第4作業 ボランティア登録の受付を行う。 ※ボランティア名簿を準備し記入してもらう。

<第2到着者>

- 1) ハンドマイクで救助要請に対応する。
- 2) ※避難住民で救助隊(10人単位くらい)を編成する。
- 3) 救助隊の応援をもらい、救助物資を防災倉庫から講堂に運び入れる。
- 4) 救助物資(給食等)の受け渡しを行う。

<第3到着者>

- 1) 避難所としての講堂に、テレビまたはラジオの設置を行う。
- 2) 校舎・校庭・周辺の被害状況の調査を行い、被害状況を管理職(校長・教頭)に報告する。

<第4到着者>

- 1) 学区内の被害状況(通学路・幹線道路)の調査を行う。
- 2) 学区内地図に調査内容を記入する。 ※自転車等を使用する。
- 3) 携帯コンロと飲料水を確保する。

<第5到着者>

- 1) 模造紙に避難所表示をする。
- 2) 避難住民の対応窓口となる。
※メモをとること、また即答できないことは管理職と相談し答える。

2 避難所が数日にわたる場合

- 1) 使用可能場所
南校舎 および 2階講堂
本部(2階職員室東側) 救護室(2階保健室)
物資管理室(2階家庭科室) 炊き出し室(2階調理室)
授乳室(2階女子更衣室→感染症発生時は3階会議室へ)
避難者居住場所(3・4階教室) ペット室(3・4階資料室)
感染症隔離病室(2階更衣室・放送スタジオ)
- 2) 居住場所の割り振りは親類縁者等を基準にし、登録カードで把握する。
- 3) その他必要事項は市教育委員会と協議する。

避難者登録カード

避難教室

階

教室

ふりがな

世帯代表者氏名

入所日

年 月 日 () 時

立会人
署名

退所日

年 月 日 () 時

立会人
署名

自宅住所

電話番号

ふりがな

氏

名

性別

年齢

配慮事項等

退所後の住所

移転先の問い合わせに答えていいですか？

可 ・ 否

【体育館の地区割表示】

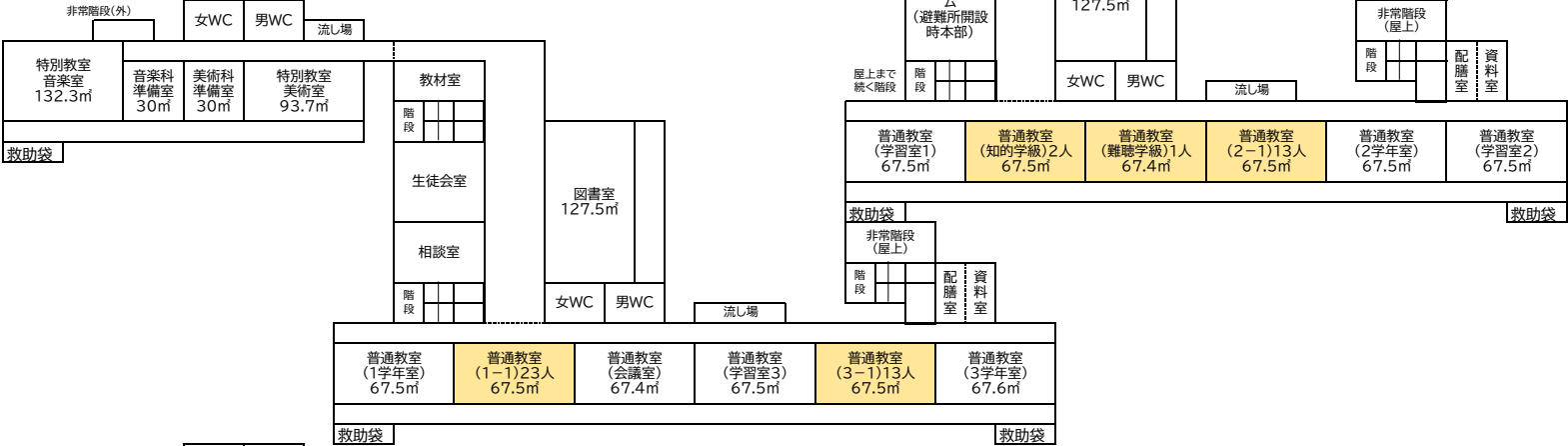


令和6年度 湊中校舎配置図

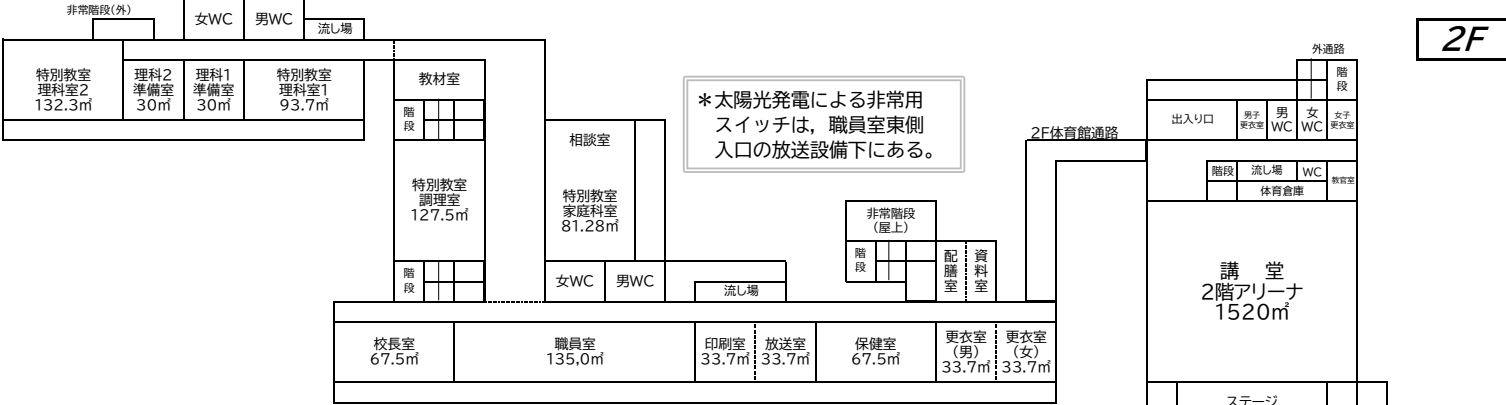
4F

石巻市立湊中学校
 〒986-0026
 石巻市湊東一丁目13番地1
 TEL(0225)95-8351
 FAX(0225)95-8352

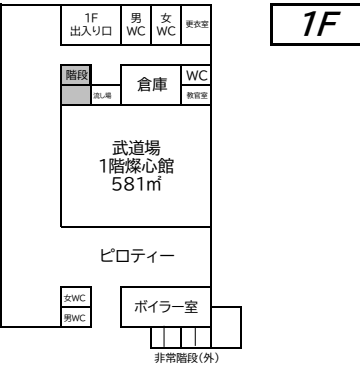
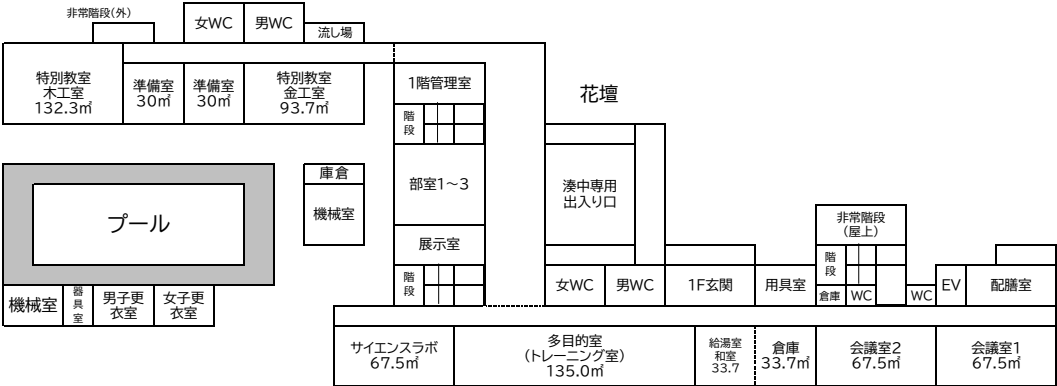
3F



2F



1F



Ⅱ－７ 学校再開

災害による休校から学校再開まで

安否確認・健康状態の把握と組織体制の確立

管理職

- ア 生徒の安否確認・被災状況・心身の健康状態の把握の指示（家庭訪問・避難所訪問等）
- イ 臨時の学校環境衛生検査の実施についての検討
- ウ 教職員間での情報の共有
- エ 教職員の心のケアに向けた校内組織体制づくり
- オ 生徒の心のケアに向けた組織体制・役割分担の確認
- カ 心のケアの対応方針の決定と共通理解・全体計画の作成
- キ 地域の関連機関との協力体制の確立
- ク 保護者との連携・健康観察の強化依頼等
- ケ 緊急支援チーム（C R T等）の受け入れ
- コ 通学路・スクールバスの確保
- ☆ 報道関係機関への対応
- ☆ 障害や慢性疾患のある生徒への対応

養護教諭

- ア 生徒の安否確認と心身の健康状態の把握
 - ・ 家庭訪問，避難所訪問
 - ・ 健康観察の強化
 - ・ 教職員間での情報の共有
 - ・ 担任等との連携等
- イ 保健室の状況確認と整備
- ウ 管理職との連携
- エ 学校医・学校薬剤師との連携
- オ 生徒の心のケアに関する啓発資料の準備
- ☆ 障害や慢性疾患のある生徒への対応

学級担任等

- ア 生徒の安否確認と心身の健康状態の把握
- イ 家庭訪問，避難所訪問
 - ・ 生徒の家庭の被災状況の把握
- ウ 学校再開へ向けての準備
 - ・ 学校内の被害状況，衛生状況の調査
 - ・ 安全の確保
- エ 養護教諭との連携
- ☆ 障害や慢性疾患のある生徒への対応
- オ 通学路の安全点検

Ⅲ－１ 心のケア

災害による休校から学校再開まで

心身の健康状態の把握と支援活動

管理職

ア 生徒の心身の健康状態の把握と支援活動の指示

- ・ 健康観察の強化
- ・ 家庭での様子の調査
- ・ 臨時の健康診断の検討
- ・ 教職員間での情報の共有
- ・ 質問紙調査法
- ・ 相談希望調査等
- ・ 個別面談
- ・ 医療機関との連携等

イ 保護者への啓発活動の実施の指示

- ・ 健康観察の強化
- ・ 啓発資料の配布等

ウ 朝礼等で心のケアに関する講話の実施

エ 安全・安心の確保への対応

- ・ 被害の拡大，二次的被害の防止

オ 教職員の心のケアに向けた校内組織体制づくり

☆ 障害や慢性疾患のある生徒への対応

養護教諭

ア 心身の健康状態の把握

- ・ 健康観察の強化
- ・ 教職員間での情報の共有
- ・ 心のケアの質問紙調査，相談希望調査等

イ 保健だより等の啓発資料の配布

ウ 管理職との連携

エ 心のケアに関する保健指導の実施

オ 健康相談の実施

カ 学校医，スクールカウンセラー，専門機関等との連携

キ 感染症の予防対策

☆ 障害や慢性疾患のある生徒への対応

学級担任等

ア 心身の健康状態の把握

- ・ 健康観察の強化
- ・ 心のケアの質問紙調査，相談希望調査等

イ ・教職員間での情報の共有

ウ 保護者との連携

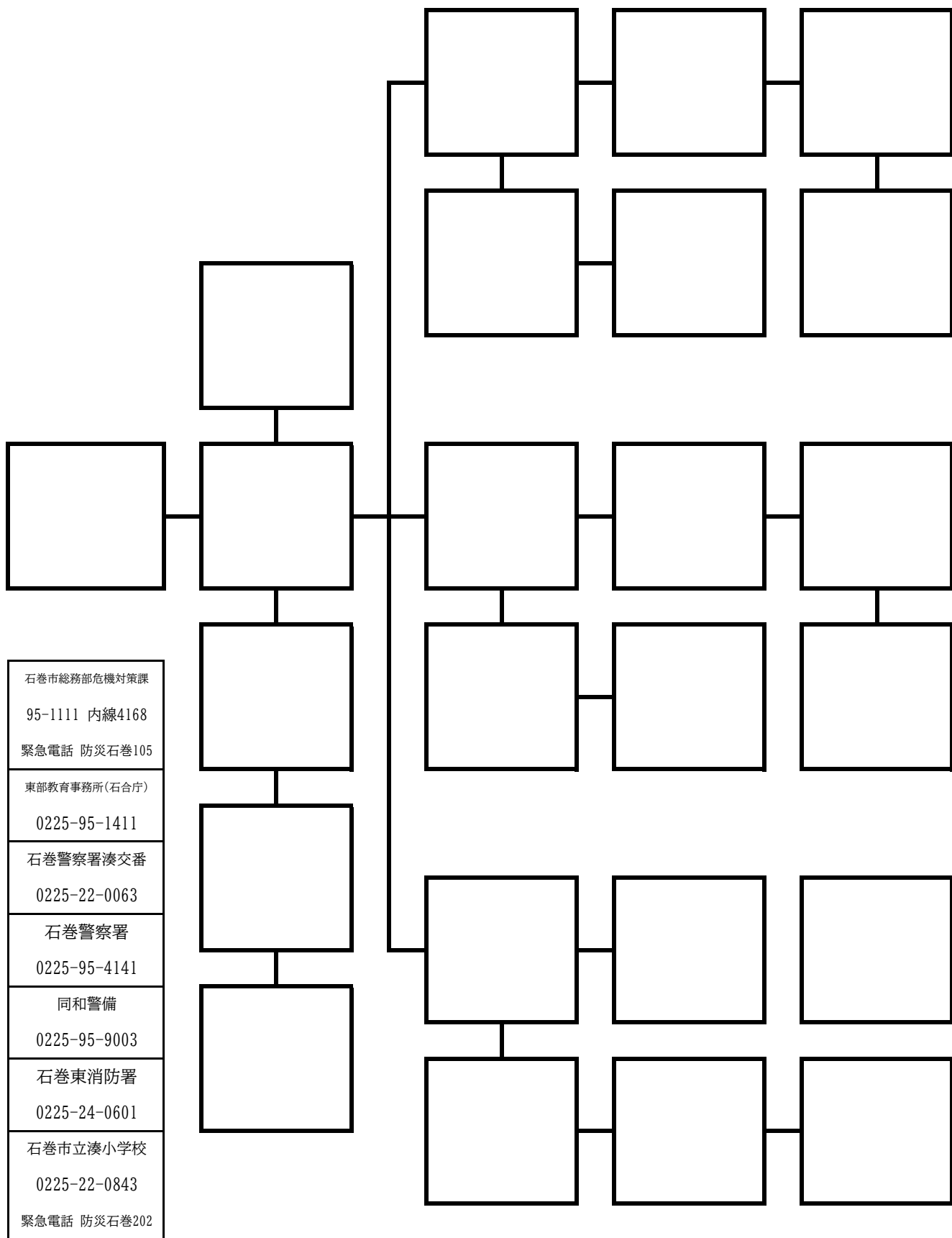
- ・ 啓発資料の配布
- ・ 個別指導
- ・ 家庭での健康観察の強化依頼

エ 養護教諭との連携

☆ 障害や慢性疾患のある生徒への対応

Ⅲ－２ 緊急時の連絡手段

令和５年度 湊中学校職員連絡網（各自貼付け） ※個人情報のため外部配布に入れない



操作説明(携帯型無線装置)

電話をかける

- ①ダイヤルを入力する
 - ・個別に呼び出す場合 :テンキーで数字3桁の相手番号を入力
 - ・グループで呼出す場合 :「#」+数字2桁のグループ番号を入力
- ②「採用」ボタン押下
- ③通話をする
- ④「電源」ボタン押下で通話終了

個別通信の場合 : 複信通信(一般電話や携帯電話と同じ)
 グループ通信の場合: 話したい場合はプレストークスイッチを押しながら話す

電話を受ける

- ①通信種別毎の呼出音が鳴る
 - ・個別に呼び出された場合 : ♪ブルブルブル…
 - ・グループで呼出された場合 : ♪ピピッ…
- ②「採用」を押して通話を始める
- ③通話をする
- ④「電源」ボタン押下で通話終了

一斉通信(確認あり)を受ける

- ①呼出音: ♪ピポッが鳴り、一斉通報が入る
例「こちらは統制局です…」

緊急連絡を行う

- ①「緊急」を2秒以上押す
- ②緊急連絡が統制台に受け付けられると、表示画面に「受付完了」と表示される
- ③統制局から折り返しの連絡を待つ

災害伝言ダイヤルの活用法

○ 伝言の再生 (学校からの指示・伝言を聞く)

1 7 1—2—0 2 2 5—9 5—8 3 5 1 をダイヤルすると学校からの指示が再生

○ 伝言の録音 (各自が伝言を録音する)

1 7 1—1—○○○○—△△—□□□□ (○以降は各自の電話番号)

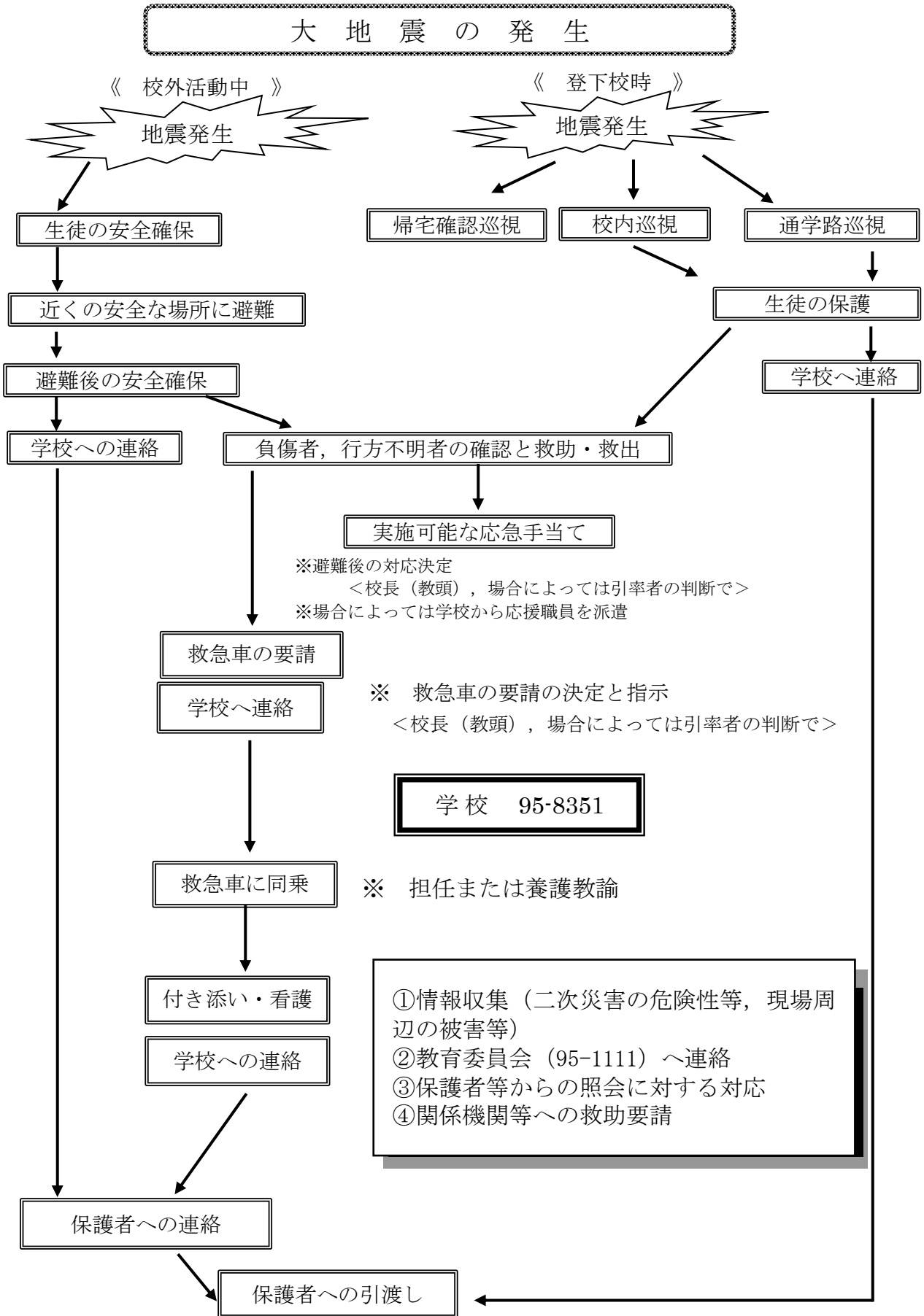
Ⅲ-3 災害備蓄品リスト

[R6.3.22現在]

備蓄品名		個数	有効期限	備考	保管場所
飲料水		1800本	2026.2	500ml/24本/75箱	4階 備蓄倉庫
	災害備蓄用パン(オレンジ)	96食	2026.9	24缶×4箱	4階 備蓄倉庫
	災害備蓄用パン(黒まめ)	96食	2026.9	24缶	4階 備蓄倉庫
	わかめごはん	300食	2026.2	50袋×6箱	4階 備蓄倉庫
	五目ごはん	300食	2026.2	50袋×6箱	4階 備蓄倉庫
	ドライカレー	300食	2026.2	50袋×6箱	4階 備蓄倉庫
給水タンク		17個			4階 備蓄倉庫
ガスコンロ		1台			4階 備蓄倉庫
ガス・カートリッジ		12本		3本/4束	4階 備蓄倉庫
発電機		2台			4階 備蓄倉庫
ガソリン		4リットル	H28.3.11		4階 備蓄倉庫
石油ストーブ		8台			4階 備蓄倉庫
手回しソーラーランタン		1台			4階 備蓄倉庫
ソーラーランタン		3台			4階 備蓄倉庫
投光器		3台		2台/1箱+1台	4階 備蓄倉庫
手回しラジオライト		2台			4階 備蓄倉庫
懐中電灯		12本			4階 備蓄倉庫
オイル		1			4階 備蓄倉庫
剣スコップ		4本			4階 備蓄倉庫
毛布		35枚		5枚/7箱	4階 備蓄倉庫
バスタオル		45枚		45枚/1箱	4階 備蓄倉庫
救護マット(アイマット)		5枚		5枚/1箱	4階 備蓄倉庫
簡易トイレ		6個		6個/1箱	4階 備蓄倉庫
ボックスティッシュ		60個			4階 備蓄倉庫
救急箱セット		1セット			4階 備蓄倉庫
ブルーシート		4枚			4階 備蓄倉庫
工業用扇風機		5台			4階 備蓄倉庫
段丈夫ベッド		4箱			4階 備蓄倉庫
パーティション		7箱			4階 備蓄倉庫
ヘルメット		10個			4階備蓄倉庫(5), 2階職員室前(5)
太陽電池独立電源		1式			4階 備蓄倉庫
単1	乾電池	24本		12本/2箱	4階 備蓄倉庫
単2		30本		24本/1箱+6本	4階 備蓄倉庫
持出袋	エマージェンシーセット	1セット			2階 職員室
持出袋	エマージェンシーセット	各1セット			3階 2, 3年教室
持出袋	エマージェンシーセット				4階 1年生教室
放射線測定器		1式			2階 職員室東側窓下

(原子力発電施設周辺地域対策交付金による研環境生活部原子力安全対策課貸与備品)

Ⅲ - 4 マニュアルのリーフレット



《 休業日 》



震度6弱以上の地震発生時 全員参集

※津波注意報・警報発表時は参集しない！

※まずは安全な場所へ避難。自分の身を守る。

※津波警報解除後、学校へ参集

※ 緊急連絡網

教職員非常招集

- ①校舎施設の被害状況の把握
- ②児童の安否確認
- ③教育委員会（95-1111）へ連絡
- ④PTA会長との連絡
教頭→PTA会長
- ⑤情報収集（二次災害の危険性等、地域の被害等）
- ⑥保護者等からの照会に対する対応
- ⑦情報の窓口の一本化<教頭対応>

授業再開について教育委員会、PTAと協議

学校避難所の開放

【避難所の運営支援活動】

配布係	食料品、飲料水の配布、毛布、肌着、タオル等配布
連絡係	災害対策本部等との連絡
受付係	避難者名簿の作成、避難民への情報提供、苦情の相談等
清掃係	ごみの始末、便所の清掃等
ボランティア班	ボランティアの受付、指示等
巡回係	避難民の状況把握、施設の警備等

※詳細は【校舎が避難所になった場合】参照

家庭訪問

授業再開について教育委員会、PTAと協議

保護者への連絡

非 常 災 害 用 カ ー ド

() 年 1 組 () 番 生徒氏名 []

保護者氏名 [] []

自 宅	現住所	
	電話番号	

保護者 勤務先	勤務先名	
	電話番号	

家族構成	続 柄	氏 名	職業(勤務先や学校, 学年等)	電 話

兄弟, いとこ等 ※湊小・湊中に在籍の場合に記入	小 / 中 年 組 ・ 氏名
	小 / 中 年 組 ・ 氏名
	小 / 中 年 組 ・ 氏名
	小 / 中 年 組 ・ 氏名
	小 / 中 年 組 ・ 氏名

緊急時の 避難場所 <small>※家族で確認</small>	在宅時	
	登下校時	

緊急時の連絡先(保護者の方も含む)

順位	氏名(ふりがな)	本人との関係	勤務先・日中の居場所	緊急時電話番号
1				
2				
3				

〔緊急時の引渡しについて(緊急時引渡しカード)〕

〔生徒氏名〕	〔現住所〕	〔地区名〕
保護者氏名(続柄)	()	()
〔 緊 急 時 電 話 番 号 〕	〔 〕	〔 〕

緊急時の引取り者 ※保護者以外の方が引き取りに来る場合

順位	氏名 <small>(ふりがな)</small>	本人との関係	住 所	緊急時電話番号
1	()			
2	()			
3	()			

※「緊急時引取り者」に記入されていない方には生徒を引き渡すことができません。
 ※生徒を引き取る際には、引取り者の証明ができる物(身分証明書等)を提示していただきます。
 ※引取り者名は、生徒を引き取る際の優先順位(1～3)でご記入ください。
 ※ご家族以外の方に依頼する場合は、ご本人の承諾を得てからご記入ください。

災害発生時の対応について《保護者の皆様へお願い》

令和6年4月8日(月)

石巻市立湊中学校

校長 後藤 正章

宮城県沿岸に津波注意報・警報が発表された場合の対応について

1 生徒が学校にいる場合(地震, 津波注意報・警報発生時)

- (1) 生徒は学校待機とし、原則として下校させません。
- (2) 状況を判断して、「大門崎公園(高台)」に避難させます。
引受者が学校に迎えに来た際も、津波の恐れのある場合には、引受者と一緒に「大門崎公園(高台)」に避難していただきます。
- (3) 注意報、警報が発表中の場合は、原則として引き渡しはいたしません。

2 生徒が在宅中(登校前)

- (1) 自宅待機または家族と共に高台や避難所等への自主避難とします。登校させないでください。
- (2) 注意報・警報解除後の学校の対応については、学校からメール配信、電話連絡、家庭訪問等、可能な方法で連絡します。それまでは、自宅待機または自主避難となります。

3 生徒が登下校中

- (1) 「自宅が近ければ自宅に戻る。」「学校が近ければ学校に向かう。」「最寄りの高台に避難する。」「高い建物・施設に避難する。」「近くにいる大人に助けを求める。」等、生徒が自分で判断し、行動することになります。大きな揺れが収まったらすぐに道路へ出て、生徒の姿を確認し、声掛け等をお願いします。
- (2) 津波注意報・警報が解除されるまでは避難行動を継続します。

※ 自宅等から自主避難し、自宅等に戻れない場合には、可能な範囲で結構ですので、学校へ安否、所在、連絡先等をお知らせください。

※ 原則として、津波注意報・警報が発表されている段階では、保護者や事前に登録されている方が来校しても、生徒の引き渡しはできません。注意報・警報が解除されてからお出でください。

4 連絡先

湊中学校 0225-95-8351

湊中学校緊急連絡用携帯電話 070-1306-2305

見やすい場所に掲示し、緊急時に備えてください。